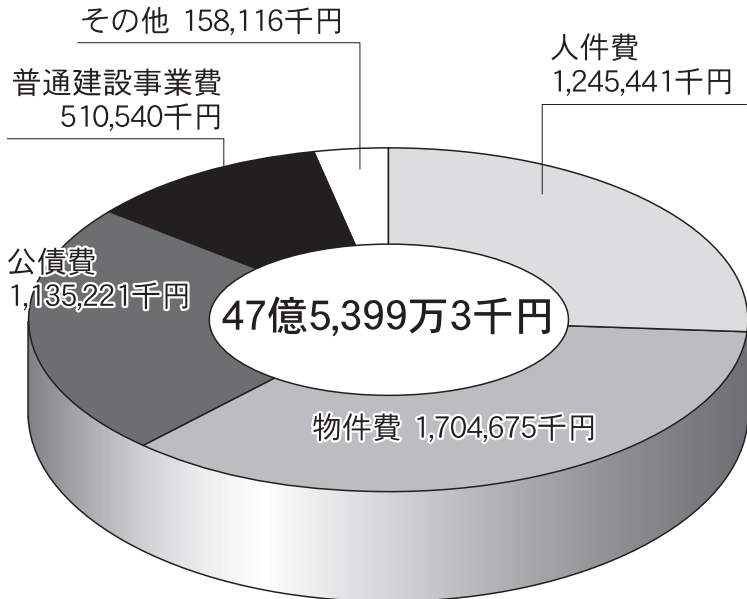


平成22年度決算報告

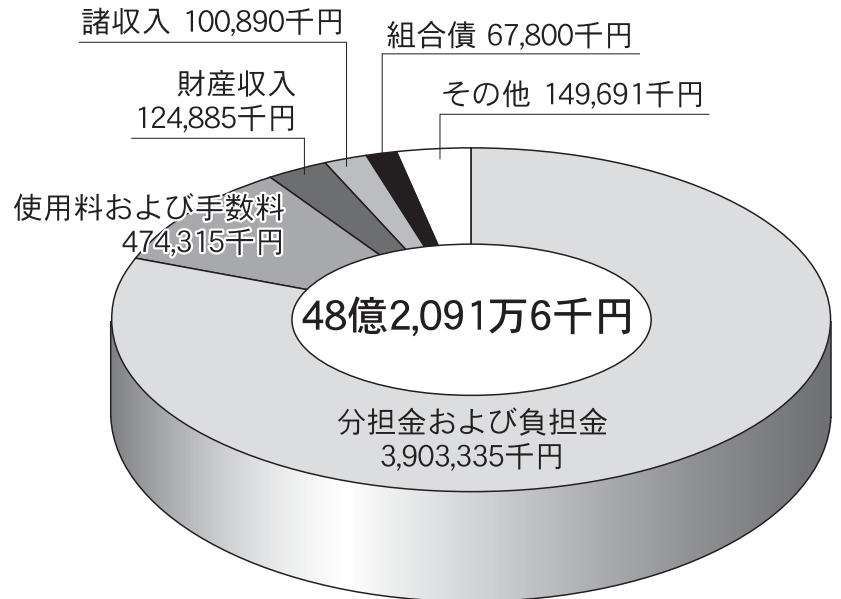
行財政改革などの取り組みにより、構成市町の財政負担を軽減しました

城南衛生管理組合の平成22年度決算がまとまりました。決算総額は、歳入が48億2,091万6千円（対前年度比11.7%減）、歳出が47億5,399万3千円（対前年度比11.7%減）で、6,692万3千円の黒字決算となりました。また、構成市町からの分担金については、39億333万5千円で、前年度比8.2%減となりました。

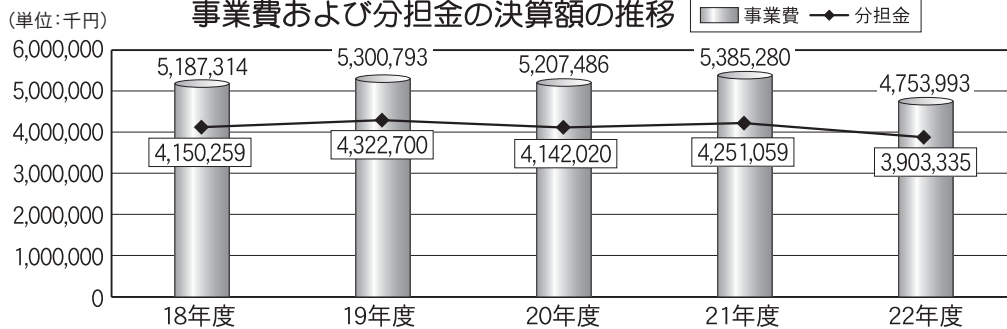
歳出



歳入

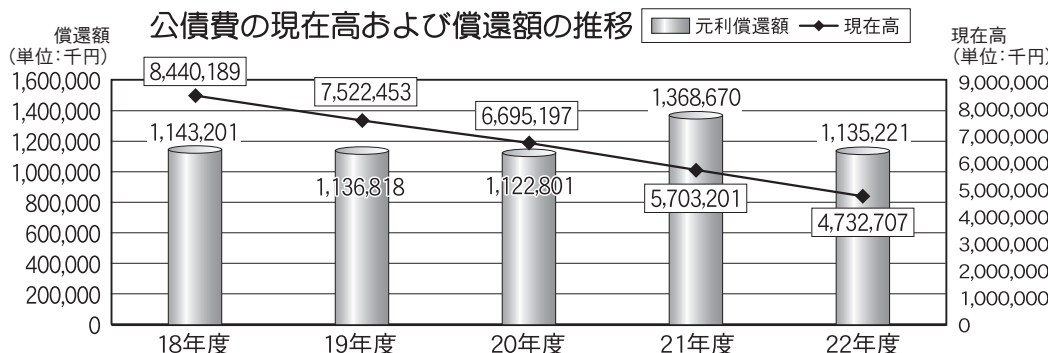


事業費および分担金の決算額の推移



人件費、公債費の大幅な減少に伴い、分担金が減少しました

公債費の現在高および償還額の推移



大規模な施設整備事業の償還完了に伴い、公債費が減少しました

管内受益世帯・管内人口当たりの税等負担

事業費目	管内受益世帯 ／管内人口 *平成23年4月1日現在	税等負担額		
		平成22年度	平成21年度	差引
し尿処理 (受益世帯1世帯当たり)	41,791世帯	15,994円	16,084円	△90円
ごみ処理 (人口1人当たり)	382,823人	6,327円	11,959円	△5,632円

平成22年度の主要事業として、今後10年間を見据えた中期総合事業計画を策定し、折居清掃工場および奥山リユースセンターの更新に向けた基本調査を実施しました。また、環境ISO14001活動を自らの力で維持・発展させるため、自主宣言への移行による地球環境保全に取り組みました。

その結果、分担金および負担金が減額となり、平成3年度以来の30億円台を達成し、

当組合を構成する市町の財政負担軽減につなげることができました。当組合としましては、今後とも、将来的な財政負担の軽減を図るため、引き続き行財政改革に取り組みとともに、施設の更新など、次世代の施設運営に万全を期するための計画を進め、適正に廃棄物処理事業を実施し、地球環境の保全に努めます。